

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2015. 2. 12◆◆◆

海の環境と安全を守る

海域の環境を守る、船舶の航行の安全を守る、そのためには、海面を浮遊するゴミの回収や船舶事故等で流出した油の回収は欠かせません。海には、いろんなゴミが浮遊しています。とくに、雨が多く降ったあとには、大きな河川が流入したり人口が集中している地域の海に、山からの流木、家庭のゴミ、不法投棄されたゴミなどが多量に流入します。数メートルの大木、冷蔵庫、タイヤ、ペットボトル、様々です。

瀬戸内海には、本州側、四国側ともに多くの河川が流入しており、また都市や産業も高密度で分布していますのでゴミも多く発生します。地方整備局では瀬戸内海に8隻の海洋環境整備船を配備しており、日々海面を浮遊するゴミの回収にあたっています。このうち四国地方整備局には3隻(徳島小松島港、坂出港、松山港)が配備され、約7千km²の海域を担当しています。

また、海域では貨物船、フェリー、漁船、クルーズ船、プレジャーボートなどが四六時中航行しており、海難事故が度々起こります。なかには、平成9年1月に日本海で発生したナホトカ号(ロシアのオイルタンカー)の重油流出事故のような大事故もありますし、オイルタンカー以外でも船を航行させるための燃料油を積んでいますのでこれら船舶からの油流出事故も度々起きています。油流出事故が起きた場合、海洋環境の悪化を招き生態系への悪影響も出ますし、海岸に漂着してしまうと回収作業は人海戦術が主体となり大変な苦勞を強いられることとなります(ナホトカ号事故の際はボランティアに死者も出ました。私もわずか2日間だけボランティア参加しましたが、寒風が吹く岩場で岩に付着した油をひたすら布で拭く作業は体力的にも精神的にも相当疲れます。)

先月のことなので記憶に残っている方もおられると思いますが、鳥根県沖で浮遊油が確認され、九州地方整備局所属の大型の浚渫兼油回収船「海翔丸」が緊急出動し、浮遊油約50m³(ドラム缶約250本相当)を回収しました。我が国には、大型の油回収船が新潟港、名古屋港、北九州港に配備されており、48時間以内にほぼ日本全域をカバーできる体制になっています。この体制はナホトカ号事故が契機になって整えられています。また、大型油回収船と比べると小ぶりになりますが、海洋環境整備船にもゴミ回収機能に加えて油回収機能が備えられており、これまでも度々油回収を行ってきています。

昨年4月には坂出港沖で名古屋港配備の「清龍丸」と、11月には高知港で新潟港配備の「白山」との合同の油回収訓練を実施しました。今後も引き続き、四国の海の環境と安全を守っていくために職員一丸となって努めて参ります。

四国地方整備局
港湾空港部長 東島 義郎

■徳島県西部の雪害への支援状況について

【企画部 防災課】

四国地方整備局支援対策本部は、平成26年12月に徳島県三好市、つるぎ町、東みよし町での「積雪と倒木による交通遮断により発生した孤立集落対策」のため、リエゾン及びTEC-FORCEを派遣しました。

【リエゾン】

(派遣期間：12月7日(日)～12月10日(水)) 合計27名

- ・三好市(計11名)
- ・つるぎ町(計7名)

・東みよし町（計9名）

【TEC-FORCE（道路調査班）】

（派遣期間：12月9日（火）～12月10日（水）） 合計5名

（派遣場所：三好市）

- ・道路調査班（第1班）
- ・道路調査班（第2班）
- ・ロジ班

【支援資機材等】

・タイヤショベル	2台	派遣先：三好市
・災害対策本部車	1台	派遣先：三好市
・待機支援車	1台	派遣先：三好市
・小型除雪機（中国地整所有）	7台	派遣先：三好市
・凍結防止剤	210袋	派遣先：つるぎ町
・角スコップ	101個	派遣先：三好市
・作業員	14名	派遣先：三好市

■まんのう公園リレーマラソン（結果報告）

【香川河川国道事務所 公園課】

平成27年1月11日（日）と12日（月・祝）に国営讃岐まんのう公園において、毎年恒例の冬のスポーツイベント「第16回国営讃岐まんのう公園リレーマラソン」が開催されました。今年も四国四県その他、関東、近畿、中国各県、また四国地方整備局の職員も多数参加し、2日間で延べ521チーム・4,068人がエントリーし、一般の応募者も含め約7,000人以上の来園者で賑わいました。

1日目は、香川河川国道事務所長による号砲とともにリレーマラソンのスタートが切られ、強風と小雨が降る悪天候でしたが、声援を受けたランナーたちは元気いっぱい力走し、タスキをつなげていました。今年も人気アニメキャラクターのコスチュームやヒーロー姿のランナーが登場し、会場を楽しませてくれました。2日目は小学生部門の31チーム・268人がエントリーし、小さな体で大人に負けない走りを披露し、大会を盛り上げてくれました。

今回、最も早いタイムを記録したのが「地球防衛軍徳島オヤジ支部」チーム（1日目一般部門）の2時間23分1秒でした。2日目にエントリーした「香川河川国道SP.十日垂」チームは、一般部門で2位の好成績を収めることができました。その後も続々とチームメイトとの感動のゴールを迎え、大きな怪我もなく全チーム無事に完走することができました。

次回の「第17回国営讃岐まんのう公園リレーマラソン」も来年1月に開催する予定です。また、今春の4月19日（日）には、「しこく88kmリレーマラソン2015」の開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

■国道33号 佐川歩道トンネルが完成
（3学期から安全快適な通学路になりました）

【土佐国道事務所】

土佐国道事務所が平成19年度より事業を進めてきた「佐川歩道トンネル（延長322m）」が完成し、平成26年12月25日（木）に地元自治体関係者及び中学生等による開通イベントが開催され、同日の午後4時に開通しました。

佐川歩道トンネルは、現道の佐川トンネル内の歩道幅員が75cmと狭く、トンネルを通学等で利用する佐川中学校の生徒をはじめ道路利用者には危険な状況となっていました。また、平成21年に佐川中学校の移転に伴い、本トンネルを利用する生徒の増加が予想されたことから、交通安全対策事業として現在の佐川トンネルに並行した歩道トンネルを整備しました。これにより佐川中学校の生徒が安全で安心して通学することができるようになるとともに、佐川中学校までの通学経路も約1km短縮されました。

・合同訓練

歩道トンネル内での事故発生に備えて、開通前の平成26年12月19日には、佐川中学校（通学生）、土佐国道事務所、高吾北消防署、佐川警察署、佐川町等から約70名が参加し合同訓練を行いました。訓練は、歩道トンネル内で倒れている人を発見した中学生が通報装置のボタンを押し、救急車がトンネル内まで駆けつけ搬送するなど本番さながらの訓練を実施し、トンネル内施設の機器配置、作動状況、関係機関への通報状況や、救急車のトンネル内での進入搬送状況等を確認しました。

・開通イベント

開通当日は、地元自治体、工事関係者及び佐川中学校生等関係者約80人が出席し、地元佐川町長の挨拶に引き続き、事務所長より工事報告、来賓挨拶の後、佐川中学校吹奏楽部による演奏後テープカットを行い、生徒を先頭に出席者全員が通り初めを行った後、午後4時から一般開通しました。

■事務所だより

【大渡ダム管理所】

<地域との連携を目指した取り組み>

【水源地域ビジョン「桜と花の里づくり」に向けて】

大渡ダムでは水源地域ビジョンを「桜と清流の里づくり」と定め、「桜と花の里づくり」を基本目標の一つとして地元、仁淀川町とともにダム湖畔の桜の植樹、維持管理を行っています。

その結果、仁淀川町内の桜の名所「ひょうたん桜」、「中越家のしだれ桜」等とあわせて、大渡ダム周辺は県内でも有数の桜の名所として知られるようになり、開花時期には多くの見物客が訪れています。

【大渡ダム湖畔桜植樹地の現状と課題】

ダム湖畔に植樹された桜は、近年「桜テング巢病」に冒された個体が目立つ様になっており、今年度は桜テング巢病の罹患状況調査の他、樹木医を招き管理手法等について以下のとおり助言・指導を頂きました。

- ・ダム湖畔桜の約9割が「ソメイヨシノ」
→桜テング巢病に罹患しやすい樹種。
- ・植栽樹は樹齢30年～40年の壮年期
→これから樹勢のピークを迎え衰退し始める。
- ・枯れ枝が多く、樹形が乱れている。
→植栽間隔が狭く枝が交錯。日照を求め樹形が上方に発達。密植による鬱閉状態は、日照や風通しが悪く、桜テング巢病も発生しやすくなり、枯れ枝が多くなって樹勢の衰退が早まる。

※現状を存置すると、植栽された桜の高齢化の進行とともに桜テング巢病の深刻化による枯死木の増加、桜植栽地の衰退が推察され、水源地域ビジョンで掲げた目標の維持、達成が困難になる事が予想されます。

【桜テング巢病とは】

カビの一種（ナフリタ菌）が原因で起こる伝染病です。罹患すると多数の小枝を発しながら大きな塊となり、数年で枯れ、更に枯れた枝から太い枝、幹に腐朽が進み、樹勢が衰え枯死に至ります。

また、病巣を放置すると周辺の桜にも伝染し、被害が拡大・蔓延します。「桜切るばか、梅切らぬばか」という言葉がありますが、時には桜も剪定が必要で、人間と同じく早期発見・早期治療が大切な様です。

【桜植栽地の維持管理の方針】

既存の桜植栽地を存続させることを最優先し、これと並行して病害虫に強い品種への更新を進め、桜植栽地を長期的に存続させるため、以下の対策を計画的・持続的に実施

していきます。

1. 植栽地の雑木、下草の除去
2. 枯死木及び桜テング巣病重傷木の伐採及び他品種幼苗の植栽
3. 桜テング巣病巣の除去

※除去作業は、樹木医の指導のもとH27年1月より開始しました。

【桜と花の里づくりに向けた連携】

計画的・持続的に活動していくためには、地元仁淀川町及び関係団体との連携が不可欠であり、町内の桜の名所「ひょうたん桜」「しだれ桜」といった桜の名所や既存のイベントを意識し連携を図って行きます。

※桜の時期には、大渡ダム湖畔の桜を見ながら散策する、ウォーキングイベント等も開催されます。皆さん是非、桜の名所大渡ダムにお越し下さい。

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》

***** 「いきいき四国通信」事務局 *****
「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局までご連絡頂きますようお願いいたします。

国土交通省 四国地方整備局 企画部
【担当】後藤（内3126）、仙波（内3176）
〒760-8554 高松市サンポート3番33号
電話(087)851-8061/FAX(087)811-8408
<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》